

特別展覧会

東京聖徳学園創立 75 周年記念

源氏物語千年紀

- 王朝文化の世界 - 展

ごあいさつ

本年は東京聖徳学園創立 75 周年にあたります。また、大学はこれまでの人文学部に、新たに児童学部と音楽学部が開設され、三学部に構成された記念すべき年でもあります。

本学園の教育は、実物に則して体験の中から学ぶことであり、各種の教育コレクションを収集し、活用しております。

紫式部によって創作された源氏物語は、平安時代前・中期の宮廷生活、世相を描写した五十四帖からなる長編物語です。今年、源氏物語の名が紫式部日記に記されて千年になります。

この記念すべき節目の年に、本学で所蔵する源氏物語や関連する王朝文化に関する資料を学内はもとより、学外においても公開し、宮廷生活と仮名文学の一端を理解する機会となればと信じております。

平成 20 年 10 月 20 日

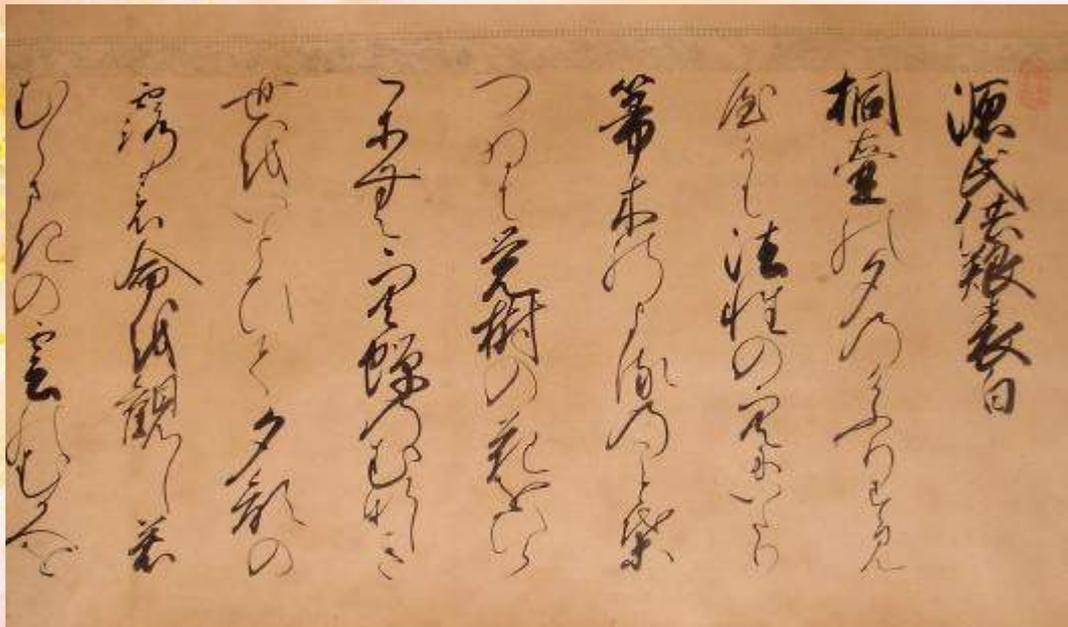
学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並弘昭



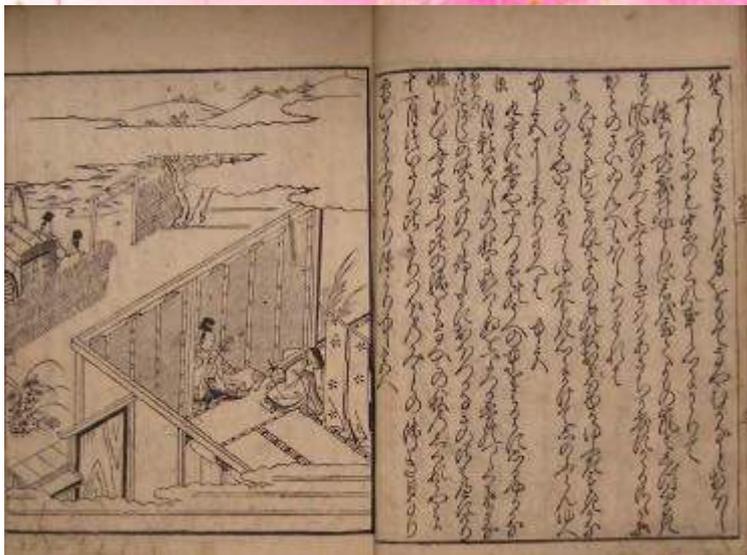
「かしはぎ」 奈良絵本 寛文元（1661）年頃



「源氏物語」 奈良絵本



「源氏供養表白」 江戸時代中期



「絵入源氏小鏡」 明暦3（1657）年



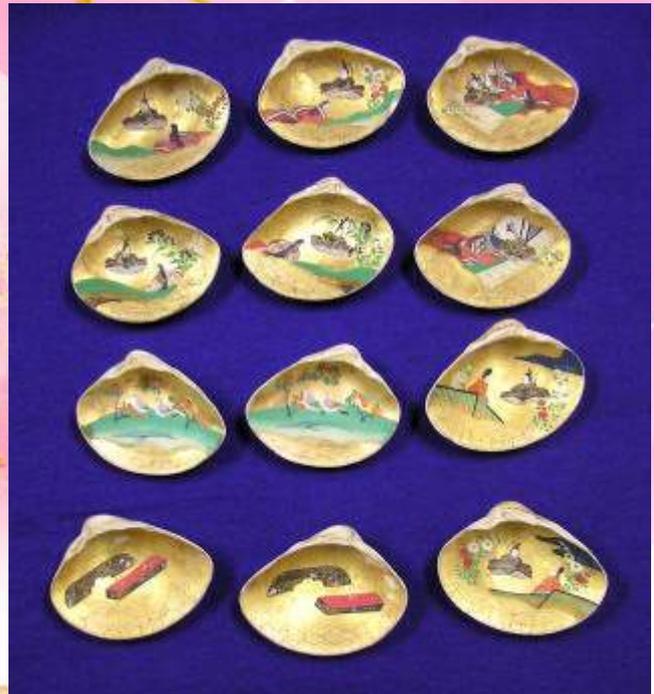
「源氏物語」かるた 江戸時代



「源氏物語」 嫁入本 江戸時代中期



「源氏物語」 屏風(部分) 江戸時代



貝覆 江戸時代

源氏物語について

54巻から成る『源氏物語』を紫式部がいつ完成させたかは不明だが、寛弘5(1008)年11月以前に少なくとも若紫巻まででき上がっていたことが解っている。また、『更級日記』治安元(1021)年の条に菅原孝標女が54帖を入手したとあり、そのころにはかなり流布していたと推測される。

古来名文とされてきた『源氏物語』は、それ以前の『竹取物語』『うつほ物語』『落窪物語』等の作り物語と、『伊勢物語』『大和物語』等の歌物語の二系統をあわせたと、『万葉集』や三代集のほか多くの私家集の中の和歌ばかりでなく、『史記』『白氏文集』をはじめ夥しい中国古典、『法華経』その他の仏典などをふまえた文体に加え、自然描写・心理描写にもすぐれた点が特徴の一つといえる。

『源氏物語』が後代に与えた影響は計り知れない。中世には、評論書が書かれ、また女子教育に使われ、これは近世の大家の嫁入本の形で見ることができる。さらに、注釈書や梗概書が多数出されたほか、謡曲にとりわけ多くの素材を提供し、あるいは『源氏物語』の続編や補作が作られ、近世の俗語解や浮世草子風の俗訳書等も作られ、広く流布した様子を窺うことができる。

出品リスト

	資料名	年代		資料名	年代
1	源氏物語 五十四帖(嫁入本)	江戸時代中期	13	貝 覆	江戸時代
2	かしはぎ 奈良絵本	寛文元(1661)年頃	14	源氏大鏡	江戸時代中期
3	源氏物語 奈良絵本		15	源氏小鏡	室町時代末期
4	源氏物語和歌集	江戸時代	16	絵入源氏小鏡	明暦3(1657)年
5	源氏狭衣百番歌合	江戸時代中期	17	十帖源氏	江戸時代
6	源氏供養表白	江戸時代中期	18	雲かくれ	江戸時代
7	源氏物語古註	鎌倉時代	19	絵入おさな源氏	江戸時代
8	源氏物語(重要文化財)	鎌倉時代中期	20	わか草源氏物語	江戸時代
9	岷江入楚	江戸時代	21	絵入源氏物語 豆本	江戸時代
10	首書源氏物語	江戸時代	22	源氏百人一首	江戸時代
11	源氏物語 屏風	江戸時代	23	源氏物語かるた	江戸時代
12	光源氏系図	室町時代	24	双 六	江戸時代

会 期:平成20年10月20日(月)~平成20年12月20日(土)
午前9時~午後5時(休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

会 場 聖徳大学8号館 ギャラリー

会場への案内:JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線 新京成線とも松戸駅下車、東口より徒歩5分

主 催 東京聖徳学園/聖徳大学 聖徳大学短期大学部

後 援 源氏物語千年紀委員会 朝日新聞社

発行 お問い合わせ 聖徳大学川並記念図書館

Tel047-365-1111(大代) <http://www.seitoku.jp/lib/>